

令和5年度 第1回除雪懇談会

日時：令和5年7月19日（水）午前10時から
場所：市役所別館 3階 第2委員会室
担当：小樽市 建設部

- 1 開 会
- 2 出席者の紹介
- 3 建設部挨拶
- 4 除雪懇談会資料の説明（1～7ページ）
- 5 除排雪等の作業状況の説明
- 6 質疑応答
- 7 閉 会

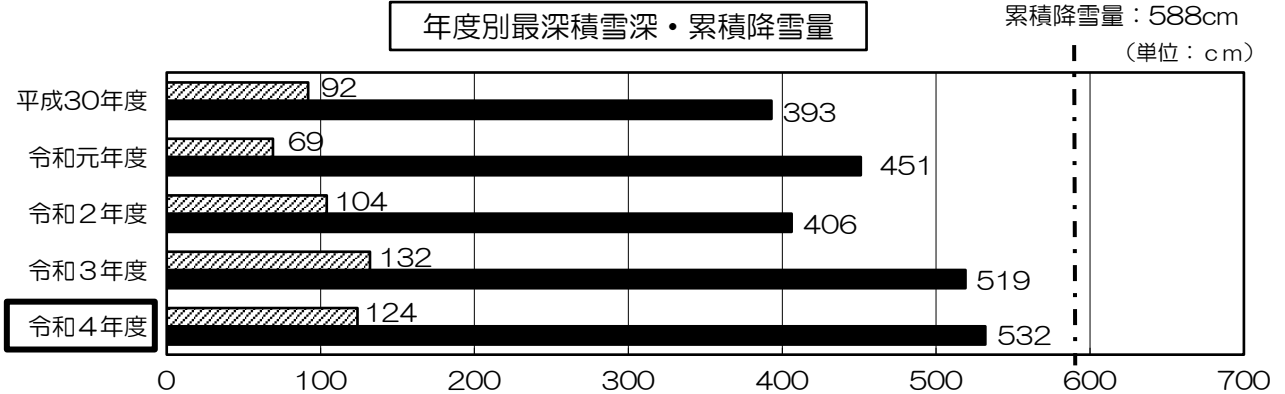
※ 個別案件につきましては、閉会后、市の担当者にお問合せ
いただくようお願いいたします。

令和5年度 第1回除雪懇談会資料

昨年度（令和4年度）の除排雪概要について

1. 近年の気象状況について

< 過去30年間平均 >
 累積降雪量：588cm
 (単位：cm)



※ 降雪量は降雪が観測された日から3月31日迄の数値

■ 最深積雪深 ■ 累積降雪量

令和4年度 月毎の降雪量 11月：5cm 12月：168cm 1月：185cm 2月：152cm 3月：22cm

年度別真冬日・平均気温・累積積雪深

項目	真冬日						冬期間の平均気温	累積積雪深
	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
平成30年度	2日	11日	18日	12日	0日	43日	0.3℃	5,009cm
令和元年度	2日	13日	14日	11日	0日	40日	0.2℃	3,640cm
令和2年度	0日	14日	21日	12日	2日	49日	0.0℃	5,426cm
令和3年度	0日	9日	13日	15日	0日	37日	0.7℃	9,326cm
令和4年度	0日	11日	22日	15日	0日	48日	0.5℃	7,305cm

< 過去30年間平均 >

平均気温：-0.2℃

真冬日：41日

累積積雪深：8,037cm

真冬日：最高気温が0℃未満の日

冬期間：11月～3月

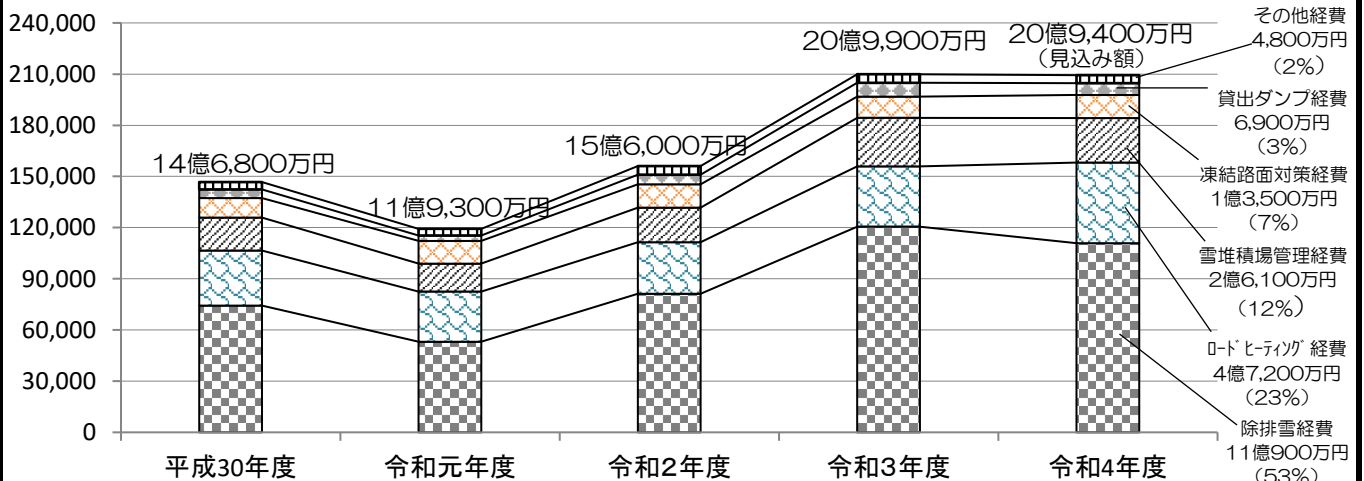
累積積雪深：日々の最深積雪深の累計

2. 昨年度の除雪費について

昨年度 除雪費の内訳 (決算見込み額：20億9,400万円)

(単位：万円)

近年の除雪費は、人件費、油脂類等の単価が年々上昇しており、増加傾向にあります。



(※1) その他経費：車両関係経費等

3. 昨年度の除排雪計画と除雪作業について

(1) 昨年度の主な除排雪計画

昨年度は、下記の取組を進めることで、除排雪作業の充実を目指しました。

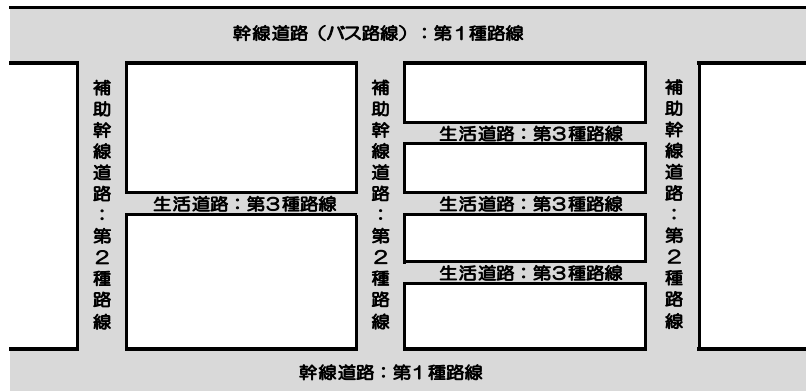
- ①庁内における雪対策体制の強化に努めました。
 令和3年度：除雪対策本部 11月1日 早期設置 → 令和4年度：11月 1日 早期設置
- ②主要幹線道路等の道路状況に応じた排雪作業に努めました。
 令和3年度：総排雪量809千³m (実績) → 令和4年度：総排雪量638千³m (実績)
 (171千³m 減)
- ③主要交差点等における見通し確保の強化に努めました。
 令和3年度：103箇所 → 令和4年度：108箇所 (5箇所 増)
- ④主要な通学路の歩行空間確保に努めました。
 令和3年度：小学校3学期の始業式前までに排雪作業等の実施を基本 → 令和4年度：小学校3学期の始業式前までに排雪作業等の実施を基本
- ⑤観光に配慮した除排雪作業に努めました。
 令和3年度：12箇所 → 令和4年度：12箇所

(2) 昨年度の除雪作業

○ 除雪路線の出動基準と道路種別のイメージ

路線区分	道路種別		出動基準 (目安)
第1種路線	幹線道路	国道、道道と接続するバス路線など交通量が特に多い主要道路	降雪量10cm以上が見込まれるとき
第2種路線	補助幹線道路	幹線道路と生活道路とを接続する通過交通量の多い道路	降雪量15cm以上が見込まれるとき
第3種路線	生活道路	主に地区居住者の日常生活において利用する道路	交通障害が発生するとき (通常は圧雪状態)

※上記の出動基準 (目安) の他、ガタガタ路面など車両走行に支障がある路面状況が発生したとき



4. 昨年度の凍結路面对策について

※数値は令和4年度実績

(1) ロードヒーティング施設

設置箇所数 : 232箇所 設置面積 : 約70,300²m (稼働面積 : 約55,300²m)
 設置延長 : 約14km

【ロードヒーティングの部分停止 (試行) について】

部分停止に伴い、交通に支障となる路面状況の悪化等は、確認されなかったため、今年度においても引き続き、安全性が保たれる範囲内において部分停止 (試行) を運用したいと考えています。

(2) 砂散布作業

機械による砂散布延長 令和3年度：約67km 令和4年度：約67km
 砂箱設置箇所数 (仮設砂箱含む) 令和3年度：668箇所 令和4年度：650箇所
 砂まきボランティア登録数 令和3年度：144件 令和4年度：145件

幹線道路以外はボランティアの皆様の御協力により、行政・市民との協働作業を推進します。

5. 昨年度に寄せられた市民の声について

令和4年度「市民の声」の総数は2,292件で、過去5カ年平均の2,077件より215件増加しました。

令和3年度と同様に、まとまった降雪（大雪等）の影響により、除雪依頼や排雪依頼等が増えたことが主な要因であると考えており、大変厳しい気象状況となりました。

本市としても、主要通学路及び幹線道路の除排雪強化、主要交差点等における見通し確保の強化に努めて参りましたが、市民の皆さんから寄せられる主要3項目「除雪依頼」677件、「除雪後の苦情」512件、「排雪依頼」461件で、「排雪依頼」を除く2項目については過去5年平均値（「除雪依頼」589件の約1.1倍、「除雪後の苦情」355件の約1.4倍）を上回る結果となりました。

市民の声（平成29年度～令和4年度）（主項目）

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	5年平均	令和4年度
除雪依頼	639件	429件	185件	418件	1,276件	589件	677件
除雪後の苦情	436件	319件	184件	322件	514件	355件	512件
排雪依頼	837件	231件	148件	271件	958件	489件	461件
その他	623件	553件	546件	594件	904件	644件	642件
合計	2,535件	1,532件	1,063件	1,605件	3,652件	2,077件	2,292件

（1）市民の声の増加要因

増加要因として、以下の事項が考えられます。

○記録的な気象の発生

令和4年度は記録的な大雪、暴風雪等に見舞われ、期間中における積雪深も多く、1月10日には、24時間降雪量が49cm、1月16日には40cmを記録し、市内における一部の交通機関にも影響が発生しました。また、最新積雪深については、2月26日時点で124cm（過去5カ年平均の約1.2倍）となりました。

○除雪作業の遅れ

連続した降雪（大雪等）により、通常は除雪作業が一晩で終了できる路線が追い付かず、翌日に持ち越すような状況が発生しました。

（2）昨冬の雪対策における主な課題及び検討事項

以下の事項について、検討を進めております。

○持続可能な除排雪体制の確保

除雪事業者との意見交換を実施し、昨冬における課題であった「除雪作業の遅れ」、「オペレーター不足」等、各地域における除排雪体制の在り方や対応策について検討します。

○小樽市雪対策基本計画の具体の取組み

【市民との協働による雪対策の推進】

- ・「雪押場確保」にかかる、制度設計の確立及び運用を目指します。
- ・「小型除雪機」の購入等支援について検討します。

【効率的な雪対策の充実】

- ・ICTを活用した除雪ステーションの管理運営の効率化について、検討します。

6. 貸出ダンプ制度について

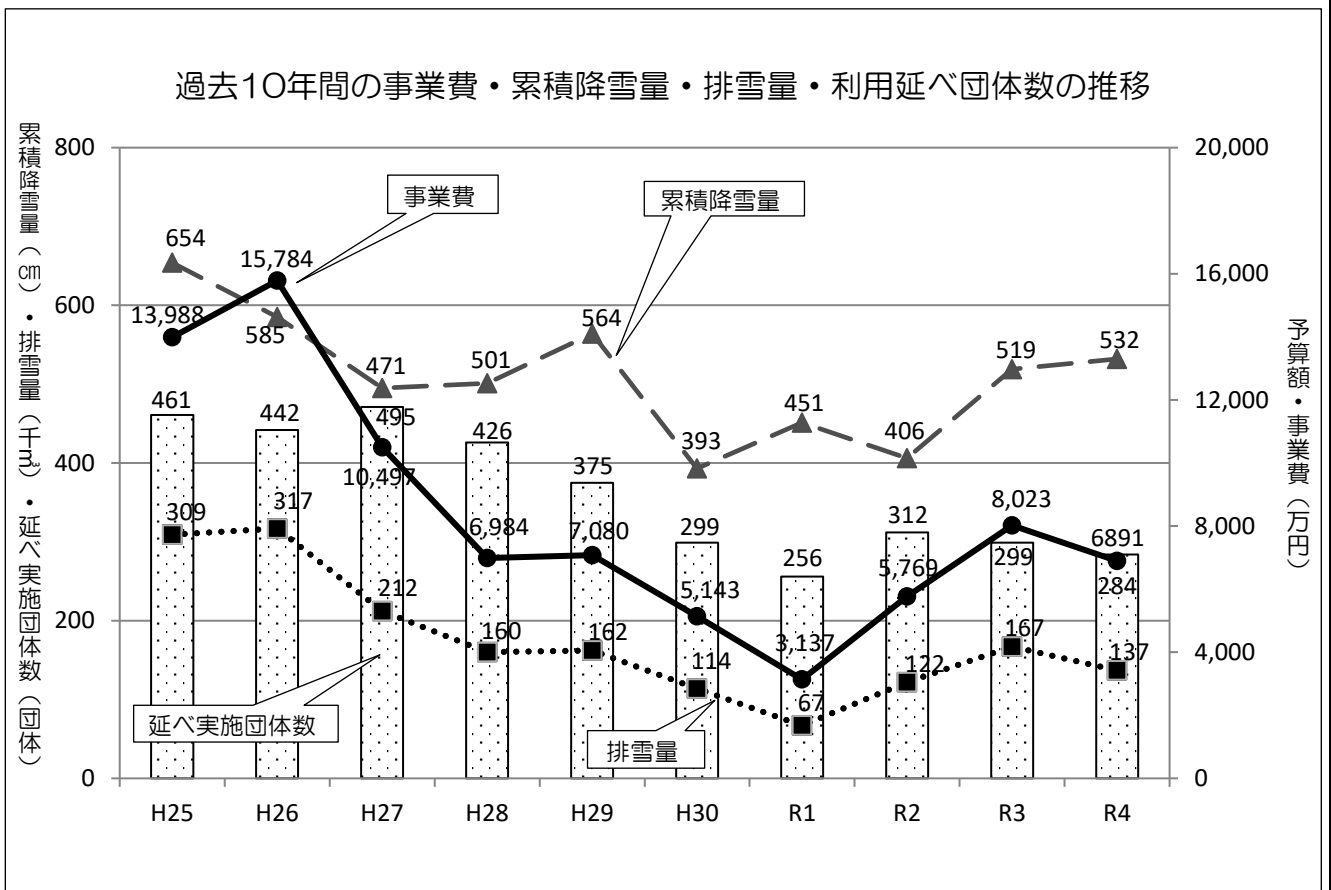
(1) 制度の概要

当該制度は、昭和54年度から市民の皆さんがその居住する地域の冬期間における交通を確保するため、町会又は団体が自主的に生活道路の排雪を行う際に、市が無償でダンプトラックを配車し、運搬処理することにより町会又は団体の排雪費用の軽減を図ることを目的としております。

(2) 貸出ダンプ制度の利用状況

○昨年度（令和4年度）の利用状況

期 間 : 令和5年1月13日（金）～ 令和5年3月13日（月）
 延べ実施団体数 : 284団体（令和3年度比 15団体 減）
 排 雪 量 : 約13万7千m³（令和3年度比 約3万m³ 減）

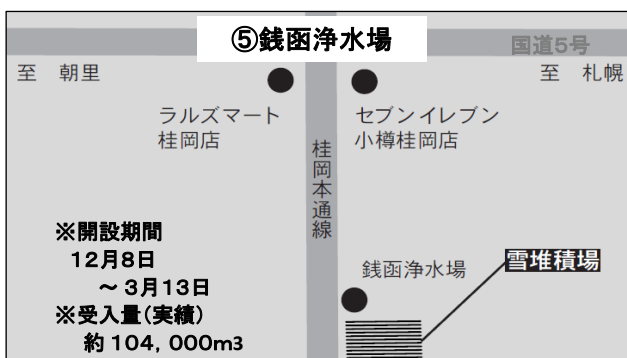
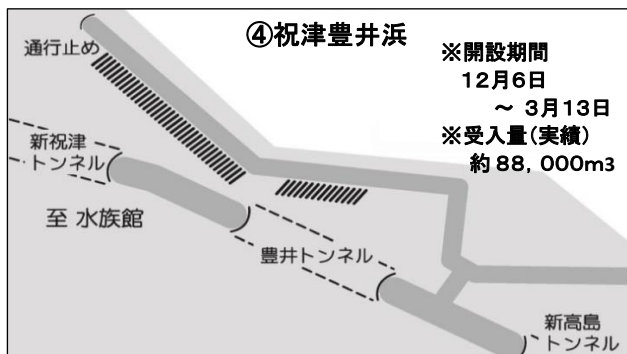
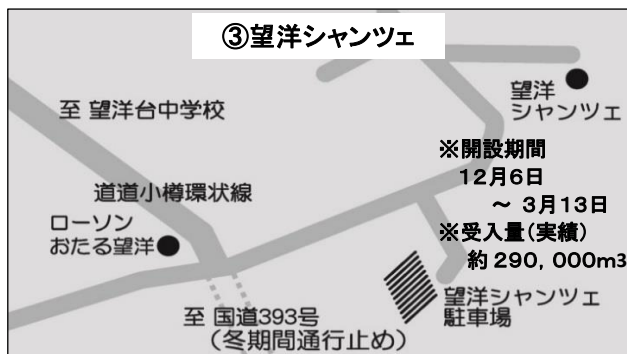
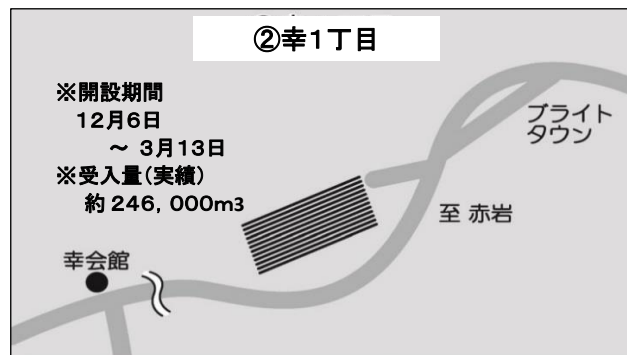
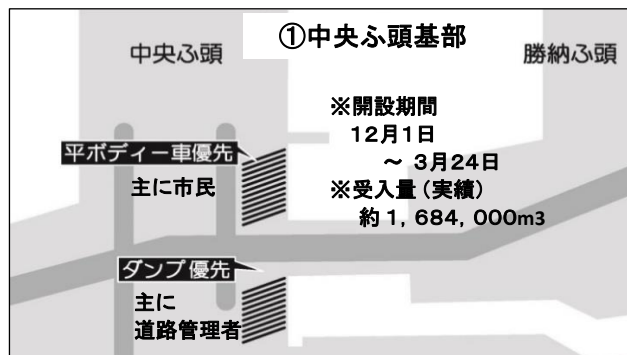


(3) 貸出ダンプ制度の現状と課題

生活道路の排雪支援として、昭和54年度から「貸出ダンプ制度」を運用していますが、制度の適正な利用のため、限りある予算を有効に活用するとともに、今年度においても、現行の貸出ダンプ制度を運用しながら、将来に向けて生活道路の排雪支援の在り方についての検討を引き続き進めます。

7. 雪堆積場の開設（実績）について

下記の6箇所を市民の雪堆積場等として開設いたしました。



8. 市民との協働による雪対策の推進について（参考資料参照）

今後とも本市の除排雪作業を安定的に持続していくためには、市民の皆さんとの協働が欠かせません。特に下記の内容について、御理解・御協力をお願いいたします。

- (1) 玄関前等に残った雪の処理は、各家庭でお願いします。……………（参考資料①参照）
- (2) 砂まき（砂回収）に御協力をお願いします。……………（参考資料②参照）
本市で対応が困難な急坂路線や歩道などの滑りやすい箇所に対する砂の散布、融雪後の砂回収作業を行うボランティア活動に御協力をお願いします。（砂の回収作業については、道路脇に寄せるか土のう袋（本市で提供可）に入れ、下記に御連絡をいただければ回収に伺います。）
- (3) 雪押場の情報提供をお願いします。……………（参考資料③参照）
- (4) 悪天候時は不要不急の外出を控えるようお願いします。……………（参考資料⑦参照）

※ 雪対策に関する御意見・御要望の窓口について

小樽市 建設部 建設事業室 維持課

住所：花園5丁目10番1号

TEL：（代表） 0134-32-4111（内線7578・7579）
（直通） 0134-27-0205

FAX： 0134-27-4469

E-mail： kensetu-iigyo@city.otaru.lg.jp

URL： <https://www.city.otaru.lg.jp/soshiki/kensetu/kensetuiii/>

令和4年度 小樽市除雪だより

◇除雪対策本部の開設について◇

除雪対策本部を11月1日に開設し、
建設事業室（花園5丁目10番1号）に本部事務局を設置しています。

連絡先：除雪対策本部事務局（建設部建設事業室）

Tel代表：32-4111（内線7578、7579） ※市役所閉庁日は当直

直通：27-0205 Fax27-4469 ※市役所開庁日のみ

◇皆さんに守っていただきたいルールとお願い◇

冬期間の道路の円滑な交通を確保し、安全で快適な市民生活を実現するため、市民の皆さんに下記の内容にご理解とご協力をお願いいたします。

【宅地内の雪出し禁止】

宅地内の雪などを道路に出すと、道路が狭くなったり、事故の原因になります。



【路上駐車禁止】

除排雪作業の妨げになります。



①玄関前等に残った雪の処理は各家庭で

道路除雪は、限られた時間で作業するため、玄関前などに雪が残ってしまいます。



②砂まき（砂回収）にご協力

つるつる路面に滑り止め材の散布や融雪期の滑り止め材の回収作業を行う「砂まきボランティア」を募集しています。



③雪押場の情報提供を

道路脇に堆積する雪の量を減らすことができます。



④屋根から落雪しないよう 管理の徹底を

歩行者を巻き込んだ事故につながる恐れがあります。



⑤子供を危険な場所で 遊ばせないで

道路脇に積まれた雪山で遊ぶと、滑り落ちて道路へ飛び出し、大きな事故になる恐れがあります。



⑥冬は常に慎重な運転を

ロードヒーティング設置箇所においても、降雪状況などによって融雪が追いつかない場合があります。



⑦悪天候時は不要不急の外出を控えて

悪天候時に外出すると、「車が埋まった」「視界が悪く動けない」などの状況に陥る危険があります。

